

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	「第5次流山市障害者計画」及び「第4期流山市障害福祉計画」の策定
担当課	障害者支援課

① 市民参加の方法の選択について

障害者とその家族の直接の切実な意見や要望が計画策定の土台であることから、対象者のアンケート調査を事前に実施し、それを審議会や計画策定に反映させたことは評価する。

《各委員からの意見》

- ・ 障害者に関わる家族や本人へのアンケートの早い時期での実施、有識者による審議会で聴取、自宅で気軽に市民参加できる手法であるパブリックコメントを取り入れたことは大変評価できる。
- ・ アンケート調査、パブリックコメントの双方選択は適当と評価するが、両手法は、いずれも一方通行の方法となるので、障害者団体や関係NPO等との意見交換会等もあっても良いのではないかと考える。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

早い段階で、アンケート調査を行っており、それを踏まえて審議会等で十分審議したことが推察できる。また、パブリックコメントの準備期間も十分とれていたことから、スケジュールに関しては、余裕がある状態だったのではないかと考える。

HP及び広報紙での呼びかけも日程的に妥当であると評価する。

《各委員からの意見》

- ・ 審議会、パブリックコメント前にアンケートが実施され、全体に十分な時間がとられており、適切なスケジュールと判断する。
- ・ 前回計画策定時にはパブリックコメントに意見が20件あり、今回は16件と減少しているが、その原因は検証されたい。
- ・ 基本構想、基本計画の見直し事業であり、審議会での審議も十分な回数をとられており、妥当なスケジュールであると考えられる。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

アンケートを事前に実施したことや、計画書案を公民館等だけでなく、HPでも閲覧できたのはよかった。パブリックコメントの件数からいって、市民への周知はそれなりにされていたのではないかと考える。

《各委員からの意見》

- ・ 社会的弱者に対する行政のスタンス、適切さと市民の積極的な支持やボランティア参加、相互扶助を基本とする自治の在り方についての正しい認識を市民が共有するために、計画の内容と実施状況について、広く情報提供すべきであると考えられる。
- ・ パブリックコメントの資料を公民館等以外に障害者支援関連施設などへの配架を検討すべきではないかと考える。

④ 改善点について

《各委員からの意見》

- ・ 本計画は、対象者（障害者）には重要な計画であるが、対象者以外（一般市民）には分かりづらく、また、関心も低いのではないかと考える。従って、障害者、一般市民が共に健全な社会を構築・理解してもらうための、パンフレット等を作成し配布する必要があるのではないかと考える。
- ・ 福祉、障害支援はこれからの日本に大きくかかわっていく内容であるため、今後もアンケート、パブリックコメントに合わせ、現場の生の意見を聴ける「意見交換会」を実施されたい。
- ・ アンケートによる意見の収集方法についてももう少し情報が得られればと思う。

⑤ 当該事業の評価について

A	B	C	D
---	---	---	---